

---

# 永遠の夢

孤独

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

永遠の夢

### 【著者名】

ZZマーク

ZZマーク

### 【作者名】

孤独

【あらすじ】  
夢に見たことのある世界。あなたも当て嵌まる世界がありません  
か。

(前書き)

あくまで謹んで見たことのあるものですが

灰色の空

灰色の地面

見渡す限りの地平線

ここは

一体どこなのだろう

とても寒い  
とても怖い

生きているのか  
死んでいるのか  
それすら分からぬ

波のない海  
勢いよく流れしていく

飛んでいるのか  
この灰色の空を

どこへ飛んでいるか  
分からぬ

大切な何かも流れていく

そんな気がする

廃墟

初めて見る廃墟跡

よく見渡すと

初めてではない

どこか懐かしい

そしてどこか悲しい

そんな廃墟の中心  
広場と思わせるような所

ひつそり空へ延びる階段

真っ白な階段

どこへ繋がっているのか

登る

階段を登る

どれだけ登つただろうか

先は全く見えない

ひたすら登る

登る

周りは一面

鏡の世界

空も地面も全てが鏡

鏡の廃墟

鏡の階段

そして鏡の海

ある鏡は

鏡を[引]し出す

ある鏡は

[引]し出された鏡を[引]し出す

これが永遠

今度は山の頂上だらうか

開こうとするが開かない

とてもとても大きな本

読みたくても読めない

一番奥に大きな本

見たこともないよつな字

見渡す限りの本の山

いつの間にか大きな書庫

いやここは山じゃない

細い細い柱の上

下は真っ暗で何も見えない

周りは雲一つない灰色

突然落ちた

真っ逆さまに落ちていく

周りの景色は

何一つかわらない

ずっと落ち続けた

ずっと

海の中

苦しくない

そして何もいない

ひたすら続く灰色の海

このまま落ち続けるのか

光のない深海へと

大きな大きな何かの台

その端には大きな球

転がる球

それに追われる

逃げる

ひたすら逃げる

どひまでも追つてくる

嫌だ

来るな

針の山

見ているだけで痛くなる

ここに落ちたら

あっけなく終わるだろう

針に触れてみる

痛い

痛い

おかしくなつてしまいそう

真つ暗になった

何も見えない

周りが見えた

灰色の空  
灰色の地面

見渡す限りの地平線

ああ

そうだ

そうだったんだ

これは

永遠の夢

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8404a/>

---

永遠の夢

2011年1月16日04時28分発行